

福島FAスキルアップ研修会②　報告書　　11/1(日)熱海FBC

1　目的　　指導者としての資質向上を目指し、トレセン活動や各チームの指導に従事している指導者及び2027年度以降B及びAライセンスを受講希望する物のサポートの場とする。

2　主催　　（一財）福島県サッカー協会

3　主管　　（一財）福島県サッカー協会技術委員会、指導部会

4　日程

日	時　間	内　容	詳　細
１１月　１日 （日）	9:00～ 9:30	受付　ガイダンス	
	9:40～10:10	ゲーム分析	U-18年代のゲームを観て分析し、トピックを決める
	10:15～11:30	グループワーク	指導案の作成
	11:45～12:45	指導の実践①	「攻撃」に関する指導の実践
	13:45～14:40	指導の実践②	「守備」に関する指導の実践
	15:00～16:00	指導の実践③	

○**ガイダンス**：参加者２名

「良いTRとは」　についてのディスカッション。

子どもたちの成長を支援するＴＲ

⇓

・何を獲得できるかが明確なオーガナイズ・コーチング
・ことばかけ、発問で選手が自ら考える
・ゲーム分析からの適切なＴＲの構築、どこを切り取るかが明確であること
・「気づき」を与えられるか



○ゲーム分析　➡　グループワーク

東日本昌平高校の選手に参加していただき紅白戦を実施、そのゲームから「攻撃」「守備」のトピックを１つずつ課題として取り上げ、指導案を作成。

● 「攻撃」～中央突破

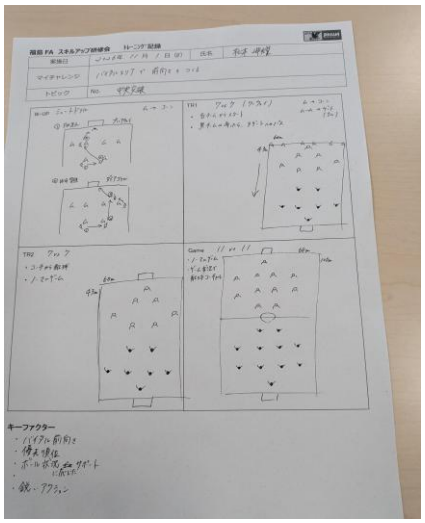
・GAMEにおいてシュート少ない～バイタルエリアで前を向きたい
攻撃の優先順位、コンビネーションの改善

● 「守備」～ゴール前の守備

・ゴール前でのあいまいな守備の改善～1stDFの決定　チャレンジ&カバー・スライドの徹底
状況に応じてボールを奪うか、ゴールを守るかの判断

○指導の実践

今回はTR-1,TR-2,GAMEをメインコーチとして30分行い、終了後参加者でディスカッション



○指導の実践①「中央突破」

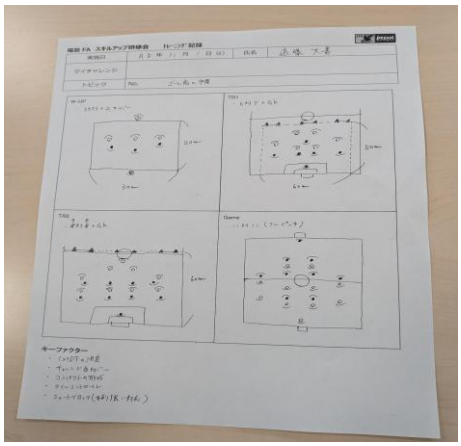
全体の流れは非常によく、短い時間で選手の意識＜ゴール＞を変えられたことは良かった。「バイタル前向き」「つながり」の2つをキーワードにコーチングしたことが伝わっていた。その中で「いつ、誰と誰が、どのように」つながるのか、縦パスのタイミングなどのコーチングの質、シュートの精度や身体の向きなどのテクニック改善、「ゴールを奪う」ためのタイミングの共有とそれを実現するための安定したビルドアップへの働きかけなど、課題も抽出された。

「ゲーム中心のアプローチ」とコーチの明るい雰囲気がTRを活気づけ、選手も楽しそうに取り組み、GAMEでは攻撃の改善が見られた良いTRでした。その中で、サッカーの本質を追求しながら質を高めていくことにこだわりたい。

○指導の実践②「ゴール前の守備」

午前中の「中央突破」に対する守備のトピックは、失点を防ぐ・勝利を目指すうえでは欠かせないテーマであり、GKが重要な役割を果たす。TRを構築する時に見落としがちなのが「GKの役割」である。10人＋GKではなく、11人の中のGKという考え方を持ち、どんなTRでもGKに与えてほしい。ゴール前の守備ではGKがリーダーシップを発揮し、誰がボールにアタックするか、ラインコントロールやスライドなど積極的な声かけが大切である。最終的な決断は選手が行うが、体を投げ出してでもゴールを守るようなTRとその雰囲気を提示してほしい。

ポジティブコーチングと明確なフリーズからの再現により、緊張感のある中で集中したTRでした。







〇指導の実践③「中盤でボールを奪うための守備の改善」

現在Aライセンスを受講中の小林翼さんが「間の学習」として前回に引き続き指導の実践を行いました。参加者も今後Aライセンスを受講したい希望があり、刺激となる時間でした。Aライセンスでは「チーム戦術をどのように落とし込むか」が求められるためTRではポジション毎に役割を明確にし、立ち位置やいつどのように動くか、を細かく観察する。GAMEでは11人それぞれに役割を与え、そのクオリティーを高めるための働きかけが求められる。より具体的に、明確なコーチングで選手に伝え落とし込む、11人すべてを視野に入れた中でのタスク管理、専門的なTRのアイデアや知識の必要性を感じました。

〇参加者の感想

・子どもたちが成長する角度を高めるために何を獲得させたいかを明確にすることの難しさを改めて体感することができた。「コーチングしようとすると全体が見えなくなる」という欠点に気づいたので日常の取組から意識して改善したい。
オーバーコーチングになってしまい選手に情報を与えすぎてしまうため、「シンプル・ショート・クリア」を心掛け、言語化して伝えたい。
とても楽しい時間であり、サッカー指導のすばらしさを実感できた。今後も福島県サッカーの発展に貢献できるよう取り組みたい。反面、参加者が少なく多くの方とディスカッションできなかったのが残念である。様々な角度からの意見を聞きたい。

・個人に求められる技術・戦術を軸にテーマをとらえることでよりBライセンスらしいTRができると感じました。

〇チューターから

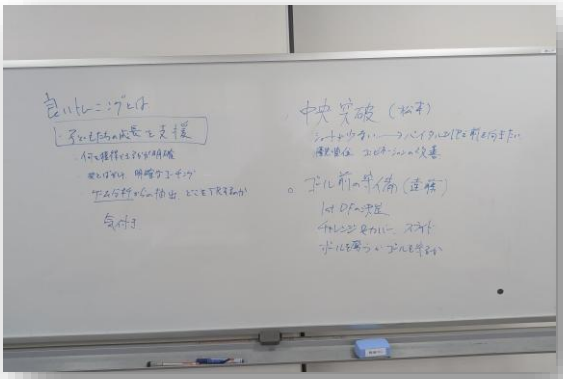
・2回目の「スキルアップ研修会」は高校サッカー選手権大会決勝と重なってしまい、参加者が少ない中での実施でした。内容は前回と同じでしたがAライセンス所有者も加わり、より質にこだわったTRコーチングでした。2回のTRを通して選手の意識が変わり、GAMEではボールを保持しながら相手の変化を観てゴールに向かう姿勢が随所に見られ、選手もコーチもともに成長することができた時間でした。ディスカッションでもお互いの意見を言ったり聞いたりしながら何が良いかを模索しながらTRを考えている姿勢に、明るい未来を感じました。

「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない 」 ロジェ・ルメール

我々も常に学ぶ姿勢を持ちましょう。　　（シニアチューター　佐藤弘八）







2回の研修会では

情熱ある指導者の参加とうまくなりたい、強くなりたい選手・チームの協力のもと

有意義で成長できる時間を過ごすことができ、感謝申しあげます。

2027年度からはポイント付与の研修会とします。

皆様の参加が福島FAの発展につながりますので「オープンマインド」な姿勢で参加し、

サッカーの楽しさを追求していきましょう。